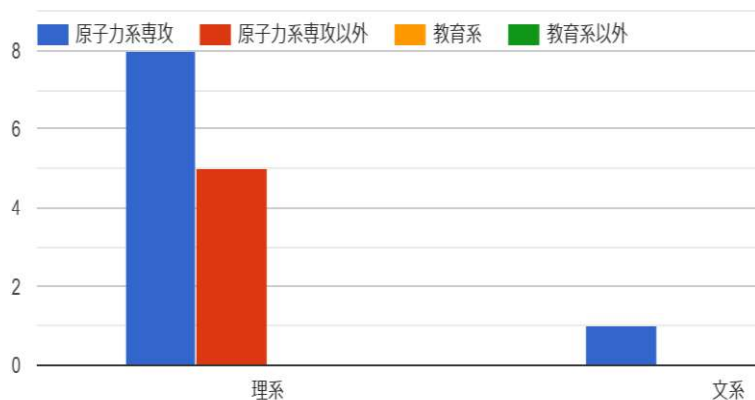


長岡技術科学大学との対話会 事後アンケート結果

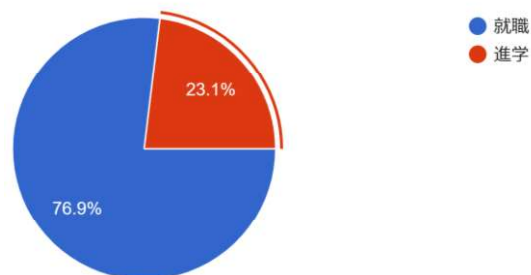
アンケート回答数13件(参加者23名であり、回収率 57 %)

(1) 参加学生について

- ・男性12名、女性1名。
- ・13件の回答のうち留学生2名(国籍:中国)
- ・学年:全員修士1年
- ・専攻



・進路

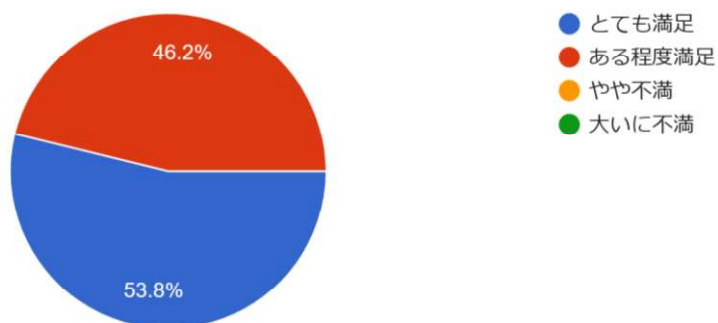


(2) 対話会について

1. 講演について伺います。

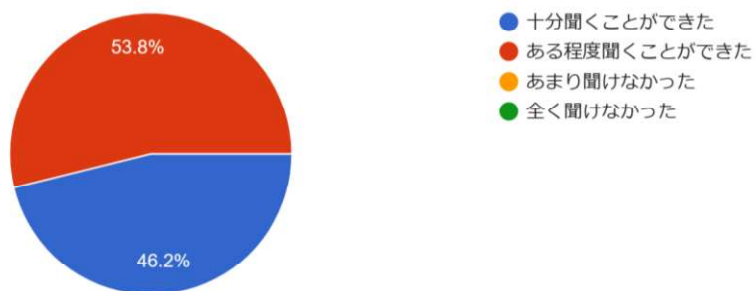
(1) 講演の内容は満足いくものでしたか？

13件の回答



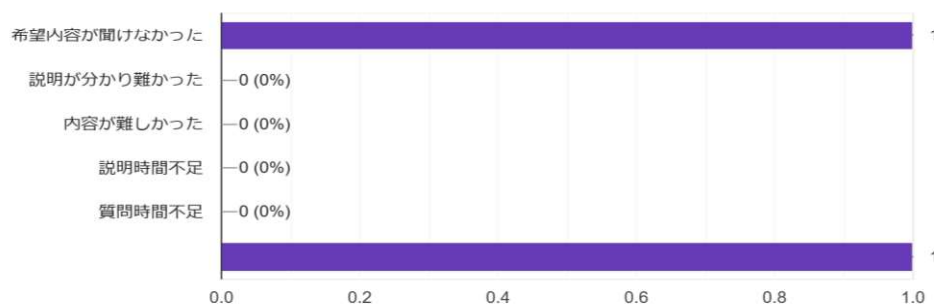
(2) 事前に聞きたいと思っていたことを聞けましたか

13件の回答



(3) (1)と(2)でやや不満、大いに不満/あまり聞けなかった、全く聞けなかったと答えた方、その理由は？（複数回答可）

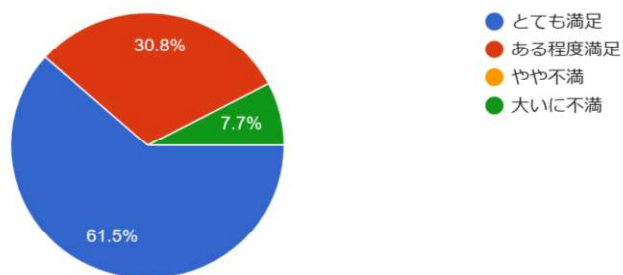
2件の回答



2. 対話について伺います。

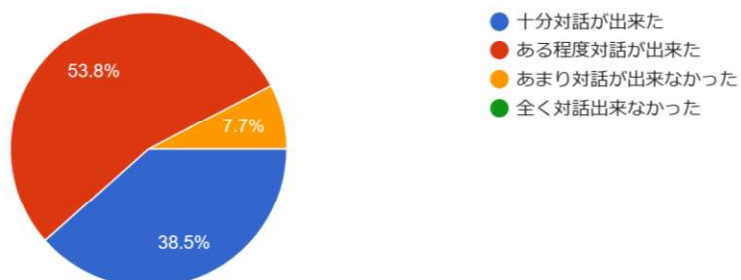
(1) 対話の内容は満足のものでしたか？

13件の回答



(2) 事前に対話したいと思っていたことは対話出来ましたか？

13件の回答



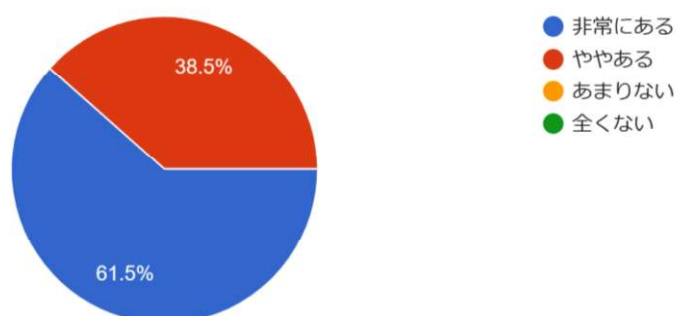
(3) (1)と(2)でやや不満、大いに不満／あまり対話出来なかった、全く対話出来なかったと答えた方、その理由は？（複数回答可）

3件の回答



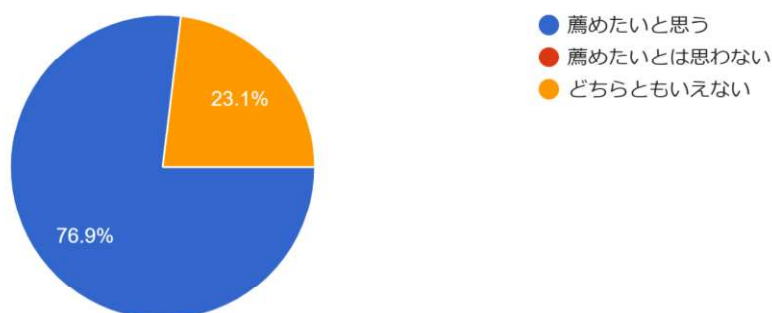
4. 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？

13件の回答



5. 今後、機会があれば友達や後輩に対話会への参加を勧めたいと思いますか？

13件の回答



勧めたいとは思わない理由は？

1件の回答

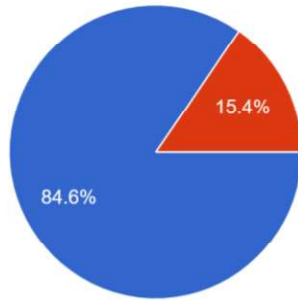
班員の構成、スキル次第ではあるが、基本英語となる可能性があり、参加者の技能次第でつまらないものに成り得る。繰り返し日本語で説明してくれる時もあるがいずれにせよ仕切り方、話の流れ次第では時間が厳しい。

II 放射線・エネルギー・環境に関する意識調査

1. 放射線、放射能に対して伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。

(1) 放射線・放射能の危険性について伺います。

13件の回答



- 放射線、放射能は日常的に浴びており、一定のレベルまでは恐れる必要はない
- 放射線、放射能は量(レベル)に関係なく怖い

(2) 放射線・放射能の生活における有用性について伺います。

13件の回答

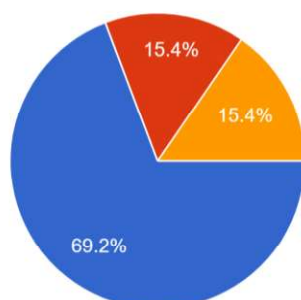


- 医療関係等で利用されており、生活に有用であることは知っている
- 生活に有用であることは知らない

2. 電源について伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。

(1) 原子力発電について伺います。

13件の回答



- 必要性を認識しており、再稼働を進めるべき
- 必要性を認識しており、将来に向け、新増設、リブレースを進めるべき
- 必要性を認識しており、2030年目標(原子力発電20~22%)を達成すべき
- 危険だから、早期に削減または撤退すべき
- 分からない

(2) 再生エネルギーについて伺います。

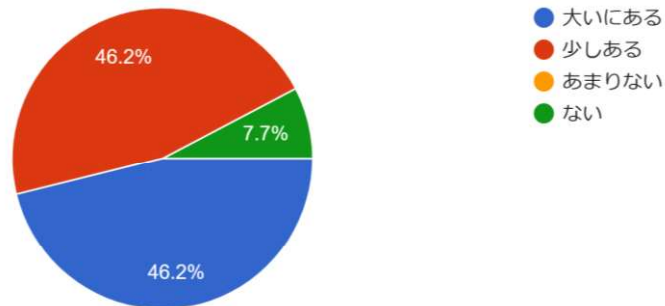
13 件の回答



3. カーボンニュートラルとエネルギーについて伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。

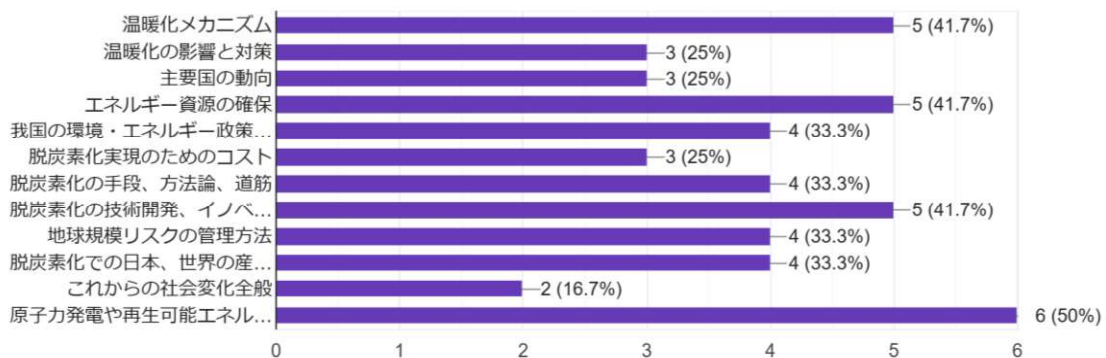
(1) 地球温暖化や脱炭素社会の実現について関心や興味がありますか？

13 件の回答



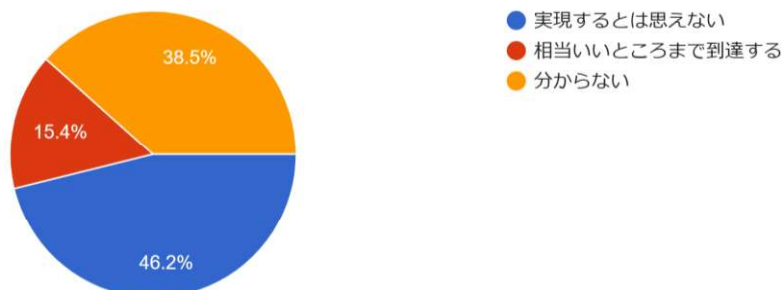
(2) 興味や関心があるのはどの項目でしょうか？（複数回答可）

12 件の回答



(3) 日本の2050年脱炭素化社会の実現可能性についての見解を伺います。

13件の回答



(4) 脱炭素に向けた電源の在り方について伺います。

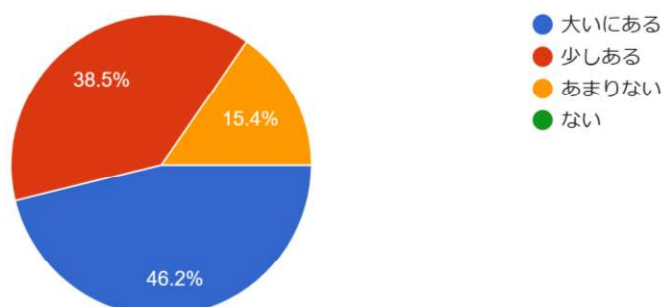
13件の回答



4. 高レベル放射性廃棄物の最終処分について伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。

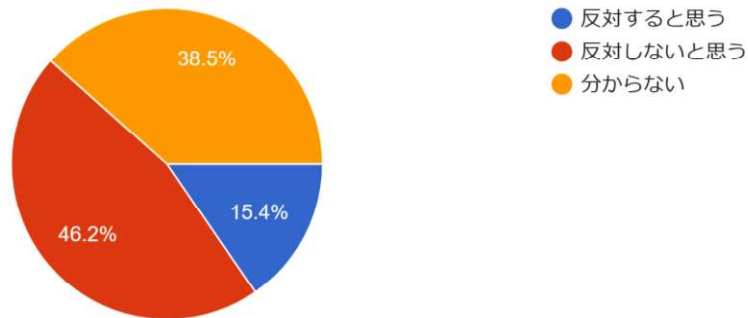
(1) 地層処分について関心や興味がありますか？

13件の回答



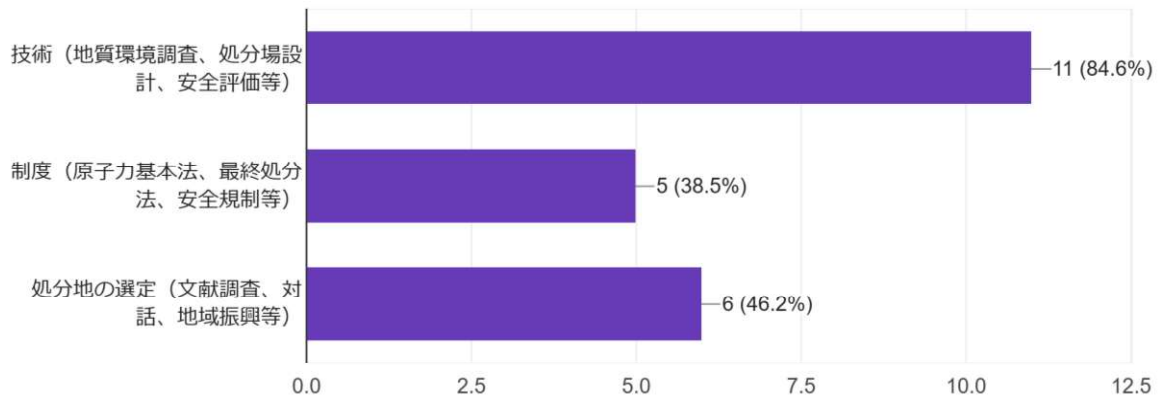
(2) あなたの住む地域や周辺地域で地層処分場の計画が起きたらどうしますか？

13件の回答



(3) 地層処分について興味や関心があるのはどの項目でしょうか？（複数回答可）

13件の回答



本企画を通して全体の感想・意見などあれば自由に記載ください

1件の回答

経験豊富なシニアの方々の知識を直接聞けたこと、質問や意見を直接話せたことは非常に貴重で、自分の将来の進路設計などに活かせる素晴らしい機会だった。

ご協力ありがとうございました

